

北海道における投資の現状 および国への要望について

令和5年4月6日

 北海道経済連合会

北海道における投資の現状

まちづくり

【(株)ファイターズスポーツ&エンターテイメント】
北海道ボールパーク(球場ほか) 新設/北広島市
投資額：約600億円
開業：2023年3月14日

【北海道新幹線延伸等による再開発】
商業施設、ホテルほか再開発/札幌市

半導体

【Rapidus(株)】
次世代半導体・製造工場新設/千歳市
投資額：約5兆円
竣工：試作ライン完成：2025年
量産製造開始：2020年代後半

データセンター

【京セラコミュニケーションシステム(株)】
再エネ100%・データセンター新設/石狩市
開業：2024年秋

宇宙産業

【SPACE COTAN(株)/大樹町】
ロケット射場ほか建設/大樹町
着工：2022年9月

再生可能エネルギー

【合同会社グリーンパワー石狩】
洋上風力発電設備(約10万kW)/石狩市
投資額：約740億円
商業運転：2023年12月

【勇払エネルギーセンター合同会社】
バイオマス発電設備(約7.5万kW)/苫小牧市
運転開始：2023年2月2日

【五洋建設(株)室蘭製作所】
洋上風力基礎・仮設鋼構造物製造工場
新設/室蘭市
竣工：2022年10月6日

電気自動車

【ダイナックス(株)】
EV用モーター製造設備導入/苫小牧市
導入：2023年
(最大12ラインまで拡張予定)

医療

【(株)カネカ】
医療機器製造工場新設/苫小牧市
投資額：約100億円
竣工：2024年5月



再エネ海域利用法の案件形成状況
(一定の準備段階に進んでいる地域)

次世代半導体をはじめポテンシャルを活かした投資拡大



【Rapidus(株) スケジュール】

- 2023年2月28日 立地表明
- 2025年 試作ライン立ち上げ
- 2020年代後半 量産製造ライン立ち上げ

【今後の取り組み】

国、道、千歳市の強力な連携に加えて、北海道内の経済団体・企業等の力を結集して、以下に取り組む。

- ・ Rapidus(株)の円滑な事業推進に向けた支援
- ・ 関連産業の立地促進・道内企業との連携構築
- ・ 半導体人材の確保・育成

多くのポテンシャルを活かした投資拡大

豊かな自然
広大な土地
冷涼な気候
豊富な再エネ賦存量
若い人材の確保
(大学・短大・高専・専修
学校卒業約3万人/年)

国内外
からの
人材集積



我が国のGX・DX・経済安全保障への貢献

持続可能な北海道の実現

- 北海道の産業構造の大きな変化の可能性
- 人口減少等に起因する諸課題の解決

【基本的考え方】

- 北海道が持つ数多くのポテンシャルを活かしながら、「ゼロカーボン北海道」の実現や「デジタル産業」の集積など、「投資」を呼び込む取り組みを、「オール北海道」の力を結集して迅速に進め、我が国の「GX」「DX」「経済安全保障」に貢献していく。

【要望事項】

- ・ Rapidus(株)の次世代半導体工場等の建設に必要な土地利用調整の円滑化や産業インフラの整備、初期投資に限らない操業等に係る費用、研究開発などへの強力な支援
- ・ 半導体関連産業の集積・道内企業との連携構築、半導体人材の確保・育成への強力な支援
- ・ 洋上風力発電の早期導入に向けた環境整備
- ・ 北海道での水素利活用に向けた実証・研究開発への支援
- ・ 民間データセンターの地方分散（北海道設置）への支援
- ・ 射場の国内最適地である大樹町を起点とした、宇宙産業の集積に向けた支援
- ・ 国家プロジェクトとしての大樹町での射場整備